



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan

Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp

URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ケンワン・オン(シンガポール)
"Faith, Love, Action" 「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長 田上 正(熊本むさしクラブ)
"Act now with faith and love" 「信念と愛を持って行動しよう！」
西日本区理事 中井真一(奈良クラブ)
"Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!" 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!」
六甲部部长 柳 敏晴(神戸西クラブ)
「温故知新 Visiting Old, Learning Now!」
芦屋クラブ会長 田辺征一
「クラブを愛し楽しみ仕えあう」
(Love, work for and enjoy the Club, together)

今月の聖句

さあ、我々は主のもとに帰ろう。主は我々を引き裂かれたが、癒やし 我々を打たれたが、傷を包んでくださる。
二日の後、主は我々を生かし 三日目に、立ち上がらせてくださる。我々は御前に生きる。
我々は主を知ろう。主を知ること追求めよう。
主は曙の光のように必ず現れ 降り注ぐ雨のように大地を潤す春雨のように我々を訪れてくださる。

ホセア書 6章1～3節

10月第1(移動)例会

と き: 2025年10月16日(木) 12:15～18:00

と ころ: 朝日新聞社見学&ニューミュンヘン(キュフェ)

責任者: 福原吉孝ワイズ

阪神野田駅前集合 11時30分

朝日新聞大阪工場 12時15分～13時55分

(トッパンメディアブリントック関西)

懇親会 16時00分～

ニューミュンヘン(キュフェ) 大阪駅中央口北側

誕生日祝い 10月誕生日の方はおられません

会 長 田辺征一
直前会長 柏原佳子
副 会 長 福原吉孝
書 記 柏原佳子
会 計 桑野友子
監 事 上野恭男
担当主事 井島裕介
六甲部地域奉仕・環境事業主査 福原吉孝

10

Oct., 2025
339号

「義務はすべての権利に伴う II」

会長 田辺征一



権利と義務を考えるときの例として、電車では車掌が車両を巡回するとき、入口と出口でいちいち車内に向かって脱帽して一礼する。また、スーパーでも店員が売り場に出入りするたびに店内に向かってお辞儀をする。これらのことを快く思う人がどれほどいるのかわからないが、

私は何かしらの不自然さを覚える。企業側は顧客に感謝を表す義務があり、客側は感謝を受ける権利がある、と多くの人は思っているのだろうか。主・客の関係は絶えず入れ替わるのに……。社会を円滑に動かすにはマナーとけじめが大切だという論理はわからないではないが、……。日本独特の建前論的慣習に由来するように思われてならない。しかし、最近では客の店員に対するカスタマーハラスメントが増えており、規制法がしかれるまでになった。今回の西日本区大会行事の中でも似たようなことがあったのは記憶に新しいところである。

イエスさまは、「私たちの負い目を赦してください。私たちも自分に負い目のある人を赦しましたように」(マタイによる福音書6章12節)と祈ることを教えている。人は、ともすれば人間関係を縦の関係でとらえがちである。「恩義がある」とか「貸しがある」ということが影響するようである。イエスさまは「人と人との関係は、借りがあるとかないとかで成り立っているではありませんよ」と言われる。一人一人の命の尊厳は人間の思いで左右されるものではない。人と人とのつながりには権利を主張する前に人を思いやる義務が必要であることをうたっておられる

9月例会集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手	
メンバー	12名	出席者	12名	累計	gm
メネット	名	メイクアップ	名	ニコニコ	
コメット	名	合計	12名		
ビジター	名	在籍者	17名	累計	
ゲスト	1名	(内広義会員1名)			
合計	13名	出席率	75%	10,910 円	
				40,810 円	

9月第1例会報告

日時： 2025年9月17日(水)19:00～21:00

場所： ホテル竹園芦屋

司会： 井島裕介担当主事 (敬称略)

参加者： 田辺征一会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子
権甲植・島田恒・堤 清・中島かおり・濱瀬真知子
福原吉孝・船橋知子 & 井島裕介担当主事

ゲストスピーカー： 小澤昌申(神戸 YMCA 総主事)

以上 13 名

9月の第1例会はホテル竹園芦屋で開催された。まずは田辺会長の挨拶と開会点鐘から始まり、クラブソングを皆で斉唱した。そして次に久しぶりに例会にご出席いただけた権ワイズによる聖句朗読と読み解きがあった。9月の聖句は「マタイによる福音書11章28節～30節」でした。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」という有名な言葉ですが、ただ単に全て重荷を背負って苦勞する者はイエスのもとに来れば、休息や憩いを与えてくれるという解釈ではなく、「力づける」「立ち上がらせる」という意味を読み取るということが大切だと説かれました。休息ではなく、今一度立ち上がり、力強く生きていく。現実を変革し、原動力を与える者として生きていこうという力強いメッセージがありました。次に食前に権ワイズから感謝のお祈りがあり、美味しい(豪華な)食事を囲みながら懇談の時を持ちました。次にゲストスピーカーとして小澤総主事を招き「神戸 YMCA 今後の展望」と



題してスピーチをいただきました。神戸 YMCA の中期計画「VISION 2030」として2030年に YMCA のあるべき姿として5つの項目が共有されました。

①子ども、若者(国籍問わず)、ボランティアが交わる、心安らぐ場づくり、他者から理解する教育の推進「教育・保育全ての施設の居場所づくり」②地域、社会が必要として、生活改善や体験を通じた活動「健康・ウエルネス、生活支援、子ども、若者の体験活動」③気候変動など地球規模の課題に取り組む「再生エネルギーの利用促進と自然保護」④ミッションを同じくする団体との協働・協業「ワイズメンズクラブ、キリス



ト教団体、学校、施設」⑤地域と世界をみつめた会員活動の推進「寄付や会費の使途を明確にする」この目指したい姿を実現するための大きな要因として、ワイズメンズクラブとの協働・協業が挙げられると説明がありました。人と人が出会い、共に助け合い、学びあい、生きていくコミュニティを形成する。

つながりが豊かな地域になっていく。ことが大切であり、まさにワイズメンズクラブがそれを体現していると感じます。少子高齢化、ボランティア離れ、課題は山積みですが、田辺会長からも「クラブとしても VISION2030 に寄与できることを意識しながら活動を進めていきたい」という力強いお言葉も頂戴しました。

次に田辺会長より、芦屋ワイズメンズクラブの会則改定につい



て報告され、「クラブへの入会と同時に YMCA の会員となることに同意した者」という文言を追加することで承認されました。その後、第2例会議事録の承認と YMCA 報告、ニコニコ献金の報告と続き、田辺会長による閉会点鐘で例会を終了しました。

担当主事 井島祐介

私と YMCA

私の YMCA とのかかわりは 53 才で鹿児島ワイズメンズクラブに入会したことから始まります。それから 14 年目の 2009 年、会員たちの祈りと熱意と協力により鹿児島 YMCA の設立を迎えることができました。YMCA は子供・若者たちの健全な成長を支援する活動と理解して、それ以上深く考えたことはありませんでした。現在、私は西神戸 YMCA のウエルネスセンターに通い健康維持に努めており、日々の生活に欠くことのできない所となっています。



今回、小澤主事のお話をお聞きするまで、YMCA が抱えている課題についてあまり考えていませんでした。それらの課題としては、ボランティア活動に対しては半数以上の人が必要なことで興味があると答えているが、実際にはそのほとんどはボランティア経験がなく、与えることの幸福感が薄い時代になりつつあること。また、急激な少子化により入園幼児数がここ 4・5 年で半減することが予想されること。子供たちのいじめに対する耐性が弱ってきており自殺する子供の数が年々更新していること。1886 年に神戸 YMCA がスタートしてこれまで数々の企画を考え行ってきたが、経営は厳しく、1950 年から 75 年続いた余島キャンプも閉じざるを得なくなったこと。等々！

日本 YMCA 同盟発行の「THE YMCA」9月号に VISION 2030 が載っている。これは 2022 年に採択された世界中の YMCA 共通のビジョンと行動指針で、4つの柱(Community Well-being, Meaningful Work, Sustainable Planet, Just World)と各3つの目標(YMCAの変革、地域の変革、世界の変革)からなるもので、同盟も現状に強い危機感を持っており、ともに考え・行動することを求めている。

田辺征一

瀬戸内国際芸術祭 2025 秋開催

今年の一大イベント関西万博が、10月13日に、終了します。万博ロスの方も多いのではないでしょうか？

猛暑の夏も終わり、秋の訪れを感じるこの頃、関西の人々に知られていない素晴らしいアートイベントをご紹介します。

3年に1度の、瀬戸内海 12 の島と 2 つの港を舞台に開催されている世界的芸術イベントです。春、夏、秋に分かれて開催されていて、秋開催は、10月3日～11月9日です。

2010年初開催以来今年で6回目を迎えます。

世界的なアーティストの作品が集結する現代アートの祭典です。



瀬戸内の島といえば、草間彌生さんのかぼちゃのオブジェで有名なアートの直島、小豆島が有名ですが、私のおすすめは、犬島という小さな島です。では、私が訪れた犬島をご紹介します。

犬島には近代化産業遺産である犬島精錬所美術館があります。いにしへの壮大なエネルギーを感じる不思議な感覚になる現代アート美術館です。

そして、小さな島の中に突如と現れる(家プロジェクト)、島と海に自然に溶け込んだ現代アートのオブジェなど、すべて歩いて回れる周囲 3.6 キロ、人口 30 人の小さな島の迷宮です。



からの脱出です。日本のエーゲ海といわれている牛窓の宝殿という港から、島の定期船で10分のアクセスも便利な島です。是非訪れてみてください。

濱瀬真知子



ガンバレ！ オリックス

小学校から草野球を楽しみ、西宮球場を本拠とする「阪急ブレーブス」のファンでした。経営が変わり「オリックスバファローズ」になっても応援



を続け試合を TV で見ています。今年は春のオープンで 12 位の最下位、心配していましたがパリーグ 3 位をキープしてクライマックスに出ることができ楽しみにしています。

悔しいのはスポーツ新聞の扱い。3 紙は勝っても負けてもカラーの 3 面は「阪神タイガース」、「スポーツ報知」は「ジャイアンツ」です。オリックスもタマには 1 面カラーで扱ってほしいな～。

島田 恒

みどり通信 Ⅷ

「広報あしや」の取材

いつも芦屋みどり福祉会にご支援いただきありがとうございます。今日はみどり作業所に「広報あしや」の取材の方が4名来られました。12月9日は障害者の日です。広報あしやに記事を載せてくださるとの事、私はどうなるかとハラハラしながらみていました。12月3日～9日に芦屋市福祉センターで行われる「第18回芦屋市障がい児・者作品展」に出品する作品を作っているところの写真を撮り、みんなに声をかけ取材して下さいました。



「昼のご飯が美味しい所。」「この作業所のいい所。」「お父さんが連れてきたからこの作業所に来た。」「お父さんお母さんもないからここにいる。」

「前の作業所は工賃たくさんもらえたけど、ここは少ないねん。」「僕は絵描くの苦手やけど、みんなが上手やってくれるからうれしい。」「どうなるかと思ったけどこんなすごい貼り絵ができたからよかった。」



みんな、それぞれの作品を作りながら、いろんな思いを聞かせてくれました。さて、どんな記事にしてくださるのか？楽しみにしています。写真は共同作品の貼り絵です。

芦屋みどり作業所 大澤昌子

「きらり輝くアート展」開催に向けて

2025年度、六甲部 地域奉仕・環境事業主査として活動する福原です。今回、六甲部で継続している事業である

「きらり輝くアート展」について報告します。

現在、「きらり輝くアート展」を来年の3月開催に向けて、六甲部部長以下、各クラブ実行委員と検討会を始めています。

この「きらり輝くアート展」は、六甲部がサポートしている大切な事業です。毎年、各地区事業施設、入居施設から素晴らしい絵画、写真、粘土、織物作品等、力作を展示して頂き、前年度には、服部正教授(甲南大学)の特別講演会を行いました。

今年度は、2026年3月27日～29日に県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」での開催が決定し、各クラブの実行委員は、出展作品募集を開始しました。

多くの作品が寄せられ、その素晴らしい作品で多くの人々に感動を与え、心豊かにして頂ける良い機会になると信じております。この取り組みは、「障害のある方に作品の発表を出来る場を提供しよう、少しでも社会と繋がりをもてるお手伝いをしよう」という強い思いで始められたワイズメンズクラブ六甲部の大切な継続事業です。

「きらり輝くアート展」の開催に向けて、皆様にも、絶大なご支援とご協力を宜しくお願い致します。

六甲部 地域奉仕・環境事業主査 福原吉孝

キラリと輝くアート展

2026年3月27日(金)～29日(日)
10:00～17:00 (最終日は13時閉場)

■会場 ■ 兵庫県立美術館王子分館 2階展示室
原田の森ギャラリー 北館
兵庫県神戸市東灘区北灘3-3-39

■主催 ■ ワイズメンズクラブ国際協会
西日本六甲部

このアート展は、障害のある方に作品を発表出来る場を提供しよう、少しでも社会と繋がりをもてるよう活動の場を設けよう、という思いで始められたワイズメンズクラブ六甲部の継続事業です。

■連絡・お問い合わせ ■ ワイズメンズクラブ(西日本六甲部)
事務局(本会)・事務局(六甲部) 編集 吉孝 電話 090-5529-2402

『 聖句 読み説き 』

旧約聖書の中には預言書と呼ばれる文章【イザヤ書から初まってマラキ書まで】があります。(雅歌は預言書ではありません)

預言者達は神からの言葉を預かって、それを人々に伝えたのですが、その言葉遣いや、ニュアンス等に少しづつ違うのに気づきます。例えばイザヤ書は冷静でエラミヤは情熱的で人々と共に苦しむような感じがあります。中でも異彩を放っているのが今日のホセア書です。

ホセア書は、神と人々との関係を、ホセアとゴメルと云う女性との関係になぞらえて、ホセアに理解させ、ホセアの理解した事を通して人々に理解させようとしているのです。ホセア書の中では神が「夫」であり、人々はその「妻」であると例えられています。そこから彼が知った事は「神は私達との関わりを持つ事を変わることなく望み続けておられる」と言うのです。それはホセアの時から変わることなく続いております。ここにはクリスチャンの方もあれば、そうでない人も居られます。イエスと出会った人、まだ出会っていない人もいます。しかし、そのような区別にかかわらず、例外なく私達は皆「神を知り、愛を行うように招かれているのだ」と今日の聖書は語っているのです。招かれていると言うことは、期待して待たれていると言うことなのです。それはとりもなおさず「愛する」事が出来る者として、神の招きに応じて上野本に立ち帰る「愛」を行う者になることが大切なのです。

権 甲植

9月第2例会議事録

日時： 9月24日(水) 18:30~20:00

場所： 芦屋市民センター204号室 (敬称略)

参加者： 田辺会長・上野・柏原・桑野・島田・濱瀬・坂東
福原(各ワイズ)、井島担当主事

☆ブリテン編集会議： 18:30~18:40

議事・報告

第1例会予定 基本：ホテル竹園芦屋 19:00~21:00

・10月16日(木) プログラム通り

参加者： 田辺会長・上野・柏原・桑野・堤・濱瀬・坂東
福原・井島担当主事(9/25現在)、島田・船橋

・11月19日(水) 浅野純一ワイズ(西宮クラブ)スピーチ
「イギリスの王侯貴族」H竹園

・12月23日(火) クリスマス祝会 18:00~21:00
エンタテイナー：「片岡さわこ」カントリーバンド
当日集合時間： 16:00 会費： 10,000円

・12月17日(水) オークションの品物の値付け等
H竹園2F会議室 16:30~18:30

☆他クラブへの訪問募。参加費用は一部クラブから支援
その他

◇会計報告 承認

◇十勝じゃがいもファンド 桑野・福原・堤担当
インカのめざめは今年では中止となった

◇六甲部部会： 11月15日(土)

会場： Hクラウンパレス神戸

講演： 14:00~16:00 懇親会： 17:00~19:00

● 会費： 12,000円

◇チャリティーラン 11月23日(日) 神戸しあわせの村

・クラブからの支援金増額(40,000円の件承認

・個人献金(3,000円)： 田辺会長・上野・柏原・桑野・
島田・坂東・福原 ☆濱瀬ワイズは神戸 YMCA に直接
・参加者： 田辺会長・濱瀬 (日曜日のため参加は難しい)
・みどり福祉作業所に柏原ワイズが参加を打診をする

◇会則第4条第2項A)の改定案が9月17日の第1例会
会で承認。改訂に伴うYMCA未入会会員への通知と納
金方法：次年度会費支払い時期に未加入の芦屋クラブ
会員へ「神戸 YMCA 維持会員申込書」を渡し、納金は
各自が行う

◇きらり輝くアート展： 次回実行委員会9月27日(土)
福原事業主査・田辺・上野・柏原
各クラブ 10,000円の協賛金

◇神戸 YMCA 三宮会館チャペル電動バトン設置工事見積
の件について話し合いをした

◇YMCA 報告

10月25日(土) 神戸YMCA秋祭り 11:00~15:00

留学生生活支援： 桑野・柏原

文責 柏原佳子(書記)

YMCA ニュース

■第27回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン
参加者募集

2025年11月23日(日)にしあわせの村にてチャリティーランを
開催いたします！今年で27回を迎えるイベントですが、今
年はYMCA外からもたくさんご参加いただきたく、自動計測機
を用いて競技を実施します！1/10 マラソンと1/100 マラソン
では記録目指してチャレンジをいただけます！もちろん毎年恒



例の1.2kmウォーキングはグル
ープで参加でき、競技ではな
く、仮装や景色を楽しんでい
ただけるような参加方法もあ
ります。あなたが走るとハッピ
ーになる子どもたちが増えま
す！このチャリティーランで集
まった支援金は「日本中の障
がいのある子どもたちがYMCA
のプログラムに参加しやすい
ように負担を軽減する目的(※)」
(※メンバーのニーズに合わせ

た指導体制をとるためのボランティアの育成や、プログラムに関
わる費用への利用)で使われます。「LOVE ON THE RUN」ぜ
ひご参加をお待ちしております！

担当主事 井島裕介

編集後記： ◆10月、やっとな朝晩少し涼しくなりました。5日
は「仲秋の名月」です。◆9月は例会の他に行事がなく、ブリ
テン困っていました。が、そこは芦屋クラブ、皆様から素敵な
投稿をいただき、いつにもまして華やかな紙面が出来上がり
ました。芸術の秋満載です。◆スポーツの秋、巨人も阪神も
オリックスもドジャースも頑張れ！ガンバレ！、TV観戦だけ
ではなく秋晴れの下、身体を動かしましょう。◆食欲の秋、物
価は上昇傾向ですが、サンマは豊漁、じゃがいも・カボチャは
ほくほくです。美味しくいただきましょう。 桑野友子